

第四紀研究 第32卷

目次

第1号(2月)

原著論文

藤本 潔：能登半島七尾西湾岸日用川低地における完新世後期の海水準変動	1
田口敬子：伊豆半島の完新世における相対的海水準変化	13
清永丈太：花粉分析からみた相模平野西部，歌川低地周辺域における完新世後半の植生変遷史	31
短 報	
上本進二・大河内 勉・寒川 旭・山崎晴雄・佃 栄吉・松島義章： 鎌倉市長谷小路周辺遺跡の液状化跡	41
書 評	47
学会記事	48

第2号(5月)

原著論文

鈴木郁夫：新潟県下田村，下原断層の断層露頭および断層変位地形	61
中川登美雄・福岡 修・藤井昭二・中村俊夫：福井県大飯郡高浜町地下の自然貝層 —貝化石群集の解析による古環境の復元と ¹⁴ C年代—	75
五十嵐八枝子・五十嵐恒夫・大丸裕武・山田 治・宮城豊彦・松下勝秀・平松和彦： 北海道の剣淵盆地と富良野盆地における32,000年間の植生変遷史	89
短 報	
三浦英樹・高岡貞夫：利尻火山から噴出した溶岩流に埋没する木材遺体の ¹⁴ C年代と樹種同定の意義	107
書 評	115
学会記事	118

第3号(7月)

原著論文

西田史朗・高橋 豊・竹村恵二・石田志朗・前田保夫：近畿地方へ東から飛んできた 縄文時代後・晩期火山灰層の発見	129
井上克弘・佐竹英樹・若松善彦・溝田智俊・日下部 実：南西諸島における赤黄色土壌群母材 の広域風成塵起源—土壌，基岩および海底堆積物中の石英，雲母，方解石の酸素および 炭素同位体比—	139
中尾賢一：宮崎平野の更新統・通山浜層の貝類群集の分布と変遷	157
短 報	
近藤 恵：千葉市木戸作遺跡縄文後期貝層出土ウマ遺存体の年代の再評価 —伴出哺乳動物骨のフッ素分析より—	171

特別寄稿

柴崎達雄・真野勝友：「第四紀環境地質」研究協力事業について ——インドネシア・日本「第四紀研究」国際協力事業 1988～1992——	175
書評	187
学会記事	189

第4号（10月）

原著論文

鈴木正章・吉川昌伸・遠藤邦彦・高野 司：茨城県桜川低地における過去 32,000 年間の環境変遷	195
Jule Xiao, H. Kumai, S. Yoshikawa, H. Masuda and Zhisheng An : Quartz from Selected Horizons of Locss-paleosol Sequence on the Chinese Loess Plateau and the Osaka Group of Central Japan	209
短 報	
西城 潔・吉永秀一郎・小岩直人・澤口晋一：北上山地北部における最終間氷期以降の 斜面物質移動期	219
資 料	
小元久仁夫：宮城県鳴子盆地の ^{14}C 年代資料	227
解 説	
柴崎達雄・スリステイアシ：ジャワ原人発見への先駆者・Raden Salch	231
書 評	237
学会記事	241

第5号（12月）特 集 号

「災害とその予測——第四紀研究の果たす役割——」	
小池一之・榎倉克幹・陶野都雄・遠藤邦彦：災害とその予測——第四紀研究の果たす役割——	245
寒川 旭：遺跡の地震跡を用いた古地震研究	249
社本康広：液状化災害予測の方法	257
松田時彦：地震の予測，その場所・規模・時期——第四紀研究の役割——	263
岩崎好規・諏訪靖二・山本浩二：ボーリングデータベースによる東大阪平野の 安政冬の地震被害と地盤条件	267
上杉 陽：富士火山のテフラ層序学的噴火予測	271
藤井敏嗣：雲仙岳の活動	283
町田 洋：大規模な爆発的噴火は自然と人間の歴史を変えたか？	285
榎倉克幹：火山災害とその予測に果たす第四紀研究の役割	289
西垣好彦：斜面災害に対する第四紀研究の役割	297
福岡捷二：河川災害軽減策の現状と課題	305
清水恵助：臨海部における地盤環境問題	309
新藤静夫：斜面災害における地中水の集中流現象	315
松島信幸・村松 武：伊那谷の土石流と満水	323
松島義章・渋谷 孝・川島 祐：神奈川県自然災害回避地図	329
陶野都雄：複合災害と総合的災害予測図	339
書 評	353
学会記事	358